

編集後記

国際基督教大学教育研究所の発足以来、研究要員も漸次整えられて来た。そして、各自、その部門は少しずつちがってはいるが、結局「人間形成とはどういうことか、殊に、敗戦下の現在、此処、日本でのそれは、どのように考えられなければならないか。」というような問題に関心が寄せられてきた。そしてこうしたわれわれの関心の共通の基盤がキリスト教であることは云うまでもないのであり、右の問題点を国際的環境の中で追求しようとしている。しかし右のような問題に各人がどのような仕方で近ずいたら一番よいかは、必ずしも直ぐに明かになるものではない。それ故、永いあいだの模索が続けられ、現在なおこの追求が続けられている。

ここに第一回の論文集として発表したものは、このような模索の一つの経過報告である。しかし経過報告としても極めてささやかなものであることをよく承知しているので、次回には一層力のこもったものになりたいと考えている。同じような問題に関心を寄せておられる方々からの忌弾のない御批判御叱正をいただければ仕合せである。多分この秋には第二冊を出せると思う。

(編集委員、小島、関屋、長、秋田)

「ICU教育研究」第一号

昭和三十年五月二十日 印刷
昭和三十年五月三十日 発行

編集兼 国際基督教大学教育研究所
発行者

三鷹市大沢一五〇〇
電話武蔵野(三九八)三七九一番

代表者 日 高 第 四 郎

印刷者 東亜印刷株式会社
東京都豊島區高田南町三ノ七五五